

学校教育目標

確かな学力と豊かな心を身につけ、なかまとともにたくましく生きる子どもの育成
～「喜んで登校」「満足して下校」できる学校に～

めざす子ども像

自主的・協力的に生活をきりひらき、地域の人とともに「あやま」を大切にしようとする子

あ たたかい心・・・自分もなかまも大切にし、「いのち」を大切にする子（人権）

や る気いっぱい・・・夢や希望に向かってねばり強く取り組み、進んで仕事にはげむ子（キャリア）

ま なぶ意欲・・・なかまとともに聴き合い学び合い、感性豊かに表現する子（学力）



努力目標

【喜んで登校・満足して下校し、「学校に行くのが楽しい」と感じる子ども100%をめざします。】

1 一人ひとりの存在や思いが大切にされるなかまづくり（人権・同和教育の推進）

★一人ひとりの存在や思いが大切にされる人権学習を進めます。 【「自分のことが好きだ」と感じる子ども90%以上】

・くらしの交流などを通し、お互いのことを知り合いわかり合えるなかまづくりに取り組みます。

★一人ひとりの違いを認め合うなかまづくりを進めます。【「自分もまわりの人も大事にしている」と言える子ども90%以上】

・安心して過ごせるルールや違いを認め合える関係を大切にします。

★保小中連携を大切にし、「なかまづくり」「自分づくり」「地域づくり」の取り組みを進めます。



2 自信をもって個性豊かにたくましく生きる力の育成（キャリア教育の推進）

★地域社会で活躍する人の生き方に学びます。 【「将来に夢や希望を持っている」と感じる子ども90%以上】

・地域・企業と協働しながら、出会い学習や体験学習等に取り組みます。

★子どもたちも教職員も笑顔であいさつをします。 【「気持ちのよいあいさつができる」と言える子ども90%以上】

3 安心感・わくわく感・達成感のある授業の創造（学力の向上）

★よくわかる授業づくりに取り組みます。

安心感 【「学習の進め方がわかりやすい」と感じる子ども90%以上】

・「めあて」「まとめ」「ふり返り」を提示します。 （学習の流れや見通しがわかる安心感）

・子どもたちの話をしっかりと聴きます。 （先生が聴いてくれているという安心感）

・「わからなさ」を大切に授業を行います。 （「わからない」と言える安心感）

わくわく感 【「勉強はよくわかる」「本を読むのが楽しい」と言える子ども80%以上】

・授業の中に「読む・書く・聞く・話す」活動を入れます。 （様々な活動があるわくわく感）

・授業の中にICT機器の活用や探究的な活動を入れます。 （見つける喜びがあるわくわく感）

・読書カード等を活用し読書活動を充実します。 （新しい出会いがあるわくわく感）

達成感 【「自分で考えて学ぶことが楽しい」と言える子ども80%以上】

・自分で考え続ける子どもを育てます。 （話し合いができたという達成感）

・授業の中で自ら進んで発言できるように取り組みます。

新聞を活用し言語力を身につけます。 （根拠や過程を話せたという達成感）

・「家庭学習（10分程度×学年）や自主学習に取り組んだ」と言える子ども70%以上】

生活チェックシートに取り組みます。 （毎日取り組み成果が出たという達成感）

4 特別支援教育の充実

・可能性を伸ばすために、自立活動を取り入れた活動を行うとともに、「共に学び、共に育つ」教育をすすめます。

・学校と保護者がしっかりと連携し、「一緒に考え、支援すること」を大切にします。

・第4学年を中心に手話学習に取り組みます。

5 地域と保護者とともにある学校づくり

★学校の教育活動や子どもたちの様子を地域・保護者にお知らせします。【HP発信】【学校・学年だより 年12枚以上】

・HPや学校だより・学年通信・学級通信を通して子どもたちの姿をお知らせします。

・地域・保護者の方の行事や学習参観等の機会を設けます。

・学校運営協議会等（保護者や地域）の意見を取り入れた学校づくりを進めます。【90%以上】



PTA努力目標

・自分から進んで笑顔であいさつします。 ・「ありがとう」の気持ちをきちんと伝えます。

・自分も周りの人も大切にします。 ・家族で話す時間をつくります。 ・早寝、早起き、朝ごはん。

※教職員も元気に【「働き方改革への意識を高めた」と言える教職員 80%以上】

【「コンプライアンス（法令遵守）の意識を高めた」と言える教職員 100%】

・教職員が元気に子どもたちと向き合えるように、総勤務時間の削減に努めます。

・働き方を見直し、ワーク・ライフ・バランスを大切にし、水曜日は定時退校に努めます。

・コンプライアンス研修を行います。